

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料)
定時株主総会	毎年6月中	同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ 信託銀行株式会社のインターネットで24時間承っており ます。 インターネットホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
期末配当金の受領株主確定日	毎年3月31日		
中間配当金の受領株主確定日	毎年9月30日		
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他 やむを得ない事由により電子公告によ る公告をすることが出来ない場合は日 本経済新聞に掲載して行う。		※上記取次所においては、特別口座に記録された株式 についてのみお取扱いしております。特別口座以外 で株式を管理されている株主様は、口座を管理され ている各証券会社経由でお願いします。
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		

株主優待

毎年9月30日を基準日に、「株主優待制度」を実施しています。

当社は業績に連動した配当を基本にしておりますが、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、9月30日を基準日とした株主優待制度を導入しています。

■ 制度の概要									
対象となる株主様	毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、 当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。 次のとおり、保有株式数に応じて、優待品を贈呈いたします。								
株主優待の内容	<table><tr><th>保有株式数</th><th>優待の内容</th></tr><tr><td>100株以上 1,000株未満</td><td>選べる優待品 1,500円相当</td></tr><tr><td>1,000株以上 5,000株未満</td><td>選べる優待品 3,000円相当</td></tr><tr><td>5,000株以上</td><td>選べる優待品 5,000円相当</td></tr></table>	保有株式数	優待の内容	100株以上 1,000株未満	選べる優待品 1,500円相当	1,000株以上 5,000株未満	選べる優待品 3,000円相当	5,000株以上	選べる優待品 5,000円相当
保有株式数	優待の内容								
100株以上 1,000株未満	選べる優待品 1,500円相当								
1,000株以上 5,000株未満	選べる優待品 3,000円相当								
5,000株以上	選べる優待品 5,000円相当								
「オリジナルカタログ」 のお届け時期	毎年12月上旬に、普通郵便にて「株主優待のご案内(オリジナルカタログ ギフト及びお申込み専用はがきとセット)」「個人情報保護シール」を同封 した封書をお送りします。								



※各カタログの内容は変更される場合があります。

第75期報告書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日



Engineering Professional

- Engineering
- Manufacturing
- Trading
- Maintenance

差別化により、成長と収益力の強化を図る

現在、当社グループを取り巻く経営環境は、大きく変わってきております。また、近況の企業に求められる社会的役割も増大してきており、この変化に向き合う自らの改革を進めてまいります。



代表取締役社長 榎本 洋
代表取締役会長 三浦 隆

Q.1 まずは、近況の経営環境についてご認識をお聞かせください。

市場が成熟化する中、市場の要求を超えた製品・サービスが求められる

当社グループは、1949年の設立以来、70年に亘り事業を営み、1961年以降は医薬品業界を主たる事業領域として、顧客の設備投資ニーズに応えてまいりました。この間、国内医薬品生産の黎明期における優れた海外機械の導入、その後の拡大期におけるエンジニアリング機能をベースにした一連ライン構築、自社製品の開発・販売などを通じて業界に確固たる地位を築いてまいりました。

しかしながら現在、我々の対象とする医薬品製造設備市場は、成熟化が進んでおります。従来の競争優位が平準化し、この市場で勝ち残っていくには、自社にしか提供できない差別化された新たな製品・サービスの再構成が必要となってきました。そして、この製品・サービスは顧客企業の生産性向上のみに結び付くだけでなく、近況、関心の高まる環境・省エネ・衛生安全などの「持続可能な社会」の形成にも寄与するものでなくてはなりません。顧客のニーズを超え、プロとして最適な最高の価値を持つソリューションの提供が求められております。

Q.2 そのような状況下、当期の業績はいかがでしたか。

大幅な増収増益を達成 来期(2019年度)も引き続き増収増益を見込む

当連結会計年度の状況につきましては、医薬品業界の動向に注視した提案営業を展開すると同時に、医薬品以外の業界へのアプローチを強化いたしました。また、中国・東南アジア市場の拡大に向け、海外展示会への出展も推進いたしました。一方、製造部門におきましては調達方法の見直しや生産の効率化・管理を徹底し、オリジナル製品のコストダウンに努めてまいりました。

この結果、売上高は、前期比32.5%増の110億円、利益面におきましては、売上高総利益率が原価低減努力により0.4ポイント改善したことも加わり、営業利益が前期比172.0%増の1,005百万円、親会社株主に帰属する当期純利益も、前期比162.6%増の589百万円となりました。なお、1株当たり配当金につきましては、前期と同額の普通配当25円に、創立70周年の記念配当5円を加え、30円とさせていただきます。

2019年度の売上高予想につきましては、3.2%増の114億円を見込んでおります。

Q.3 それでは、成熟化が進む市場において、中長期の方向感をお話してください。

主力の国内医薬品市場での深化と新たな領域への進出

まず、当社グループにとって主力となる国内医薬品業界においては、現在進めておりますグループオリジナル製品と当社にしか販売できない海外の優れた商品による差別化を強化してまいります。このために、開発力を高めると同時に、情報収集力の拡充を図っております。

一方、これからの成長ドライバーとなる事業展開につきましては、2つの領域を設定しております。1つ目が海外市場であり中国をはじめ、東南アジア地域に当社グループオリジナル製品の販売を行っていきます。このために、現地メーカーとのタイアップなど、進出地域でのネットワークづくりを現在、進めております。また、海外で開催される展示会へ積極的な出展を行っており、「ミューチュアルブランド」の知名度アップも図っております。2つ目が医薬品業界を越えた他業界への進出です。当期(2018年度)の業績におきましても、化粧品業界への販売が連結売上高の約3割を占め、子会社 株式会社ウイストを中心に他業界の開拓が進んでおります。この他業界へのアプローチは、従来から展開しておりましたが、医薬品業界が成熟化する中で、インバウンド需要などにより成長が期待される化粧品業界や商品の多様化が進む食品業界などを中心に本格的開拓を進め、第2、第3の柱を育ててまいります。

他方、これら成長戦略を展開していくにあたり、最大の課題は人材にあると認識しております。差別化を図る製品開発においても、優れた設計者が必要であり、また、海外展開を進めるにあたっては、現地の状況に詳しくマーケットを的確に捉える能力を持った人材が必要です。さらに、新規顧客・新市場の開拓にあたっては、専門知識を持つ営業マンも必要です。当社グループは、このような考え方からキャリア採用を重視し即戦力人材の獲得に努めると同時に、社員の教育・研修にも力を入れてまいります。

Q.4 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

これまでの強みを活かしながら、改革を着実に推し進める

当社は、2019年2月に創立70周年を迎えております。この70年には、様々な節目があり、多くの経営判断を重ねてまいりました。従来の路線では厳しい局面においては、大きく舵を切ったこともあります。その結果が今にあります。現在、第4次産業革命やそれに伴うデジタルトランスフォーメーションなどが進み、世界の産業構造が変化してきております。医薬品業界においても生産の海外移転、また、国の財政難などによるジェネリック医薬品へのシフト、国内設備・機械メーカーの伸長、医薬品生産設備におけるゼネコンの台頭など、業界のパラダイムが変わってきております。

我々は、この大きな変化に対応し、従来のやり方を変えていかななくてはなりません。その根底施策が「攻め」への意識改革です。この意識改革の下、全ての行動を変え、特に成長へ直接的に結び付く営業のやり方を変えていきます。従来の待ちの姿勢から、新しい需要・市場を創り出す態勢へと改革を進め、これからの持続的成長を叶えていくとともに、社会・世界の持続可能性に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、変化に対応し改革を進めるミューチュアルに、今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

SDGsの取り組み

当社グループは、様々な改革を進める中で、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)につきましても、本業を通じた課題解決に努めています。当社グループの場合、医薬品業界と深いつながりがあり、設備・機械類に携わっていることを基本に重要課題を定めています。

業績ハイライト

財務ハイライト

		2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
売上高	連結	11,317	12,555	12,219	8,350	11,066
営業利益	連結	918	920	1,228	369	1,005
経常利益	連結	987	956	1,261	472	1,034
親会社株主に帰属する当期純利益	連結	558	598	798	224	589
総資産	連結	14,628	15,167	13,481	13,331	15,004
純資産	連結	8,142	8,701	8,694	8,846	9,170
発行済株式総数(千株)	単体	7,620	7,620	7,620	7,620	7,620

(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を当期から適用しており、前期(2018/3)の総資産の数値は、この適用を遡及した数値で表示しています。単位：百万円

セグメント情報

	2018/3	2019/3	
	金額	金額	前期比
産業用機械事業	7,847	10,512	134.0%
医薬品	4,841	5,881	121.5%
化粧品	1,822	3,348	183.7%
食品	862	481	55.9%
その他	320	800	249.9%
工業用ダイヤモンド事業	503	553	110.0%
合 計	8,350	11,066	132.5%

(注) 当期よりセグメントの内訳の表示方法を製商品分類から業界別に変更しています。単位：百万円

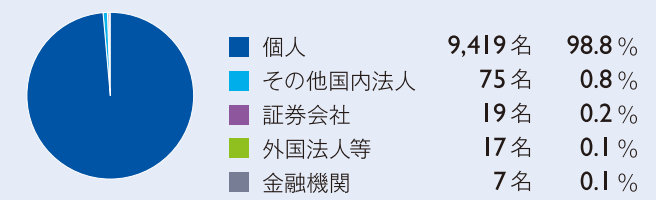
株式の状況 (2019年3月31日現在)

株式基本情報	
発行可能株式総数	17,000,000 株
発行済株式の総数 (うち自己株式数)	7,620,320 株 (1,168,413 株)
株主数	9,537 名

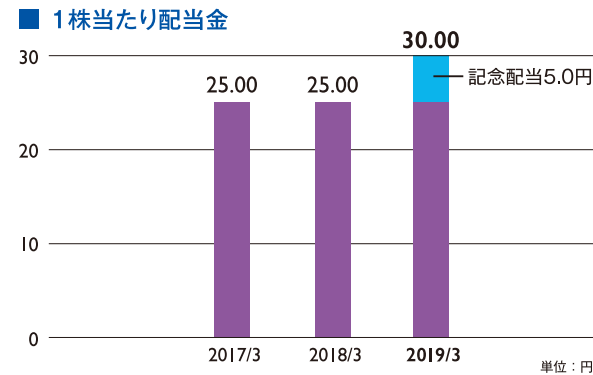
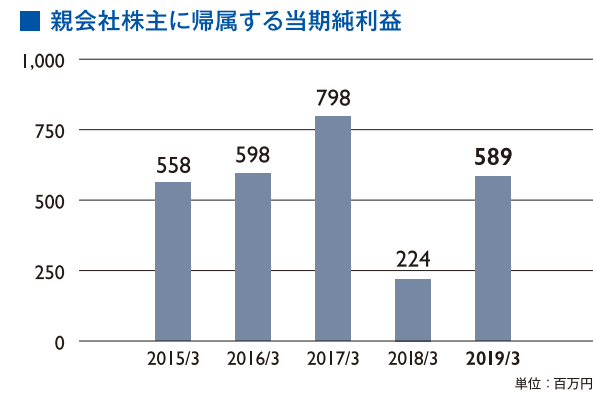
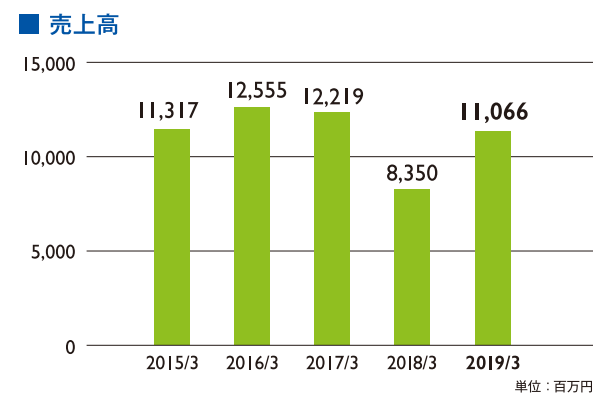
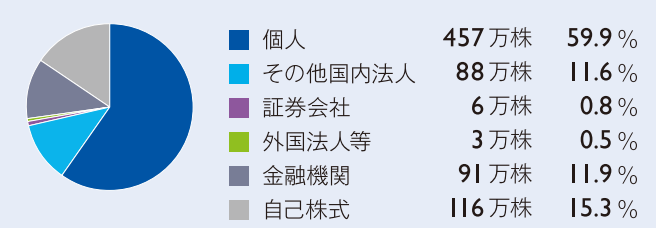
大株主	持株数	持株比率
有限会社エム・ティ・シー開発	393千株	6.1%
MTC社員持株会	384千株	6.0%
株式会社三井住友銀行	322千株	5.0%
株式会社三菱UFJ銀行	264千株	4.1%
ミューチュアル取引先持株会	253千株	3.9%
三浦 隆	205千株	3.2%
三浦 雅子	199千株	3.1%
豊田 容梨子	174千株	2.7%
森崎 真規子	173千株	2.7%
三浦 浩一	151千株	2.3%

(注) 株主数及び持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



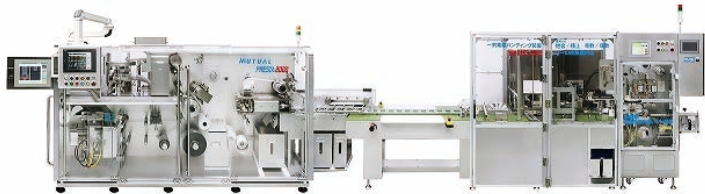
(注) 1株当たり配当金につきましては、普通配当25円に創立70周年の記念配当5円を加えた30円です。

トピックス

期待の製品群

PTP包装機 PRESTA2000 + 集積包装機他

少量多品種生産向けの当社オリジナルPTP包装機PRESTA2000に包装したPTPシート面と錠剤外観面の検査機を搭載、更にシートを集積してバンド(結束)する包装機を連結したモデルです。PRESTAは、インターフェックスジャパン等の国内展示会だけではなく、昨年11月の中国・武漢、本年4月の中国・長沙での海外展示会にも出展、多数のお客様から引き合いをいただきました。



錠剤・カプセル兼用外観検査機 PLANET 6G

錠剤又はカプセル用の外観検査機でPLANET4.8からのバージョンアップモデルです。錠剤又はカプセルに印刷・刻印がある場合は文字単位で検査判別し、楕円形などの異形錠でも部品を交換せずに検査が可能、オペレーターでも簡単に新品種登録が可能といった特徴はそのままに、旧モデルでは難しかった錠剤のエッジ部の検査精度を向上させました。



真空乳化分散装置 CML

インバウンド効果で活況である化粧品業界への深耕、更には医薬品業界への展開も可能とする乳化分散装置で世界的メーカーに多数採用されています。

特許の制御技術や独特の構造によって、一般的な装置よりも混合効率が向上、また、製品温度を一定に保つことも可能であるため高品質な乳化分散を実現します。

※乳化とは本来混じり合わない液体が、分散とは本来混じり合わない物質(一般には小さな固体)が分離せずに均一になったもの。



展示会

第31回 インターフェックス ジャパン

医薬品・化粧品・洗剤業界における日本最大の技術展で、今回は国内外から1,366社が出展、会期中全体で47,655人が来場しました。

当社は、展示会初出展となる状態監視システム「MUDIS」、真空乳化分散装置「CML-30」に加え、PTP包装機「PRESTA6000及び2000+集積機」、打錠シミュレーター「STYL'One Evolution」や錠剤外観検査機「PLANET」などを出展しました。本年度も多数の来場者を迎え、今後の販売促進に極めて有効な展示会となりました。



開催期間: 2018/6/27~6/29
開催場所: 東京ビッグサイト

会社情報

会社概要

(2019年3月31日現在)

社名	株式会社 ミューチュアル
会社設立	昭和24年(1949年)2月14日
資本金	6億6,970万円
本社	大阪市北区西天満一丁目2番5号
従業員数	(連結) 158名 (単体) 116名
事業内容	自動包装機械及び関連機器の設計・製作・輸出入販売 設備ライン化のための機械設計及び製作 機械器具設置工事 工業用ダイヤモンドの輸入販売

役員

(2019年6月26日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	三 浦 隆
代表取締役社長	榎 本 洋
取締役 常務執行役員 西日本営業担当 兼 大阪営業部長	川 島 浩 二
取締役 常務執行役員 総務部長	吉 野 尊 文
取締役 (社外)	日比野 俊 彦
監査役 (常勤)	住 中 秀 和
監査役 (社外)	北 川 和 郎
監査役 (社外)	中 西 清

事業所

(2019年4月1日現在)

本社	〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階 TEL.(06)6315-8613 FAX.(06)6315-8618
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目11番 協友ビル7階 TEL.(03)5296-7071 FAX.(03)5296-0007
静岡営業所	〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番6号 富士岡第1ビル3階 TEL.(054)255-4471 FAX.(054)255-4472
福岡営業所	〒811-3217 福岡県福津市中央二丁目23番14号 TEL.(0940)35-8123 FAX.(0940)35-8124
富山営業所	〒930-0083 富山市総曲輪一丁目5番24号 TAMURA BUILDING5階 TEL.(076)445-5257 FAX.(076)442-3338
大阪技術センター	〒595-0043 大阪府泉大津市清水町3番36号 TEL.(0725)21-1130 FAX.(0725)21-6970
東京技術センター	〒343-0822 埼玉県越谷市西方3129 TEL.(048)987-1751 FAX.(048)987-1752
関東工場	〒289-1144 千葉県八街市八街ろ55-125 TEL.(043)440-0530 FAX.(043)440-0531

グループ会社

- 日伊包装株式会社
- 株式会社ウイスト
- Mutual (Thailand) Co., Ltd.
- 三晴精機株式会社